

基議厚産第387号
令和8年2月26日

基山町議会
議長 末次明様

厚生産業常任委員会
委員長 天本勉

所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務の調査を終了したので、その結果を報告します。

記

1 調査事項並びに調査期日

- (1) 基山っ子みらい館について 令和8年2月2日（月）
（概要説明及び現地視察）

2 調査結果

子育て世代が気軽に交流できる「子育て交流広場」と「公立保育所」が併設された子育て支援拠点施設「基山っ子みらい館」の運営や施設の状況について調査を行った。

子育て交流広場では、町の無料職業紹介所と連携した保護者の就労支援及びマッチングの取組み、育児の手助けをするファミリーサポートセンター事業、また、臨床心理士（1名）と社会福祉士（2名）が子育て支援ネットワークコーディネーターとして町内の保育所等を巡回し、相談やサポートをする活動を行っているとの説明を受けた。

基山保育園は32名（正規職員16名、会計年度任用職員16名）の保育士で保育を行っているが、職員体制や運営に当たっての問題点について質したところ、保育士は配置基準を満たして運用している。看護師は公募を行っているが、応募がなく採用に至っていない。今のところ支障は出ていないが、近年の熱中症、感染症対策や体調不良児の対応、怪我の処置等の判断をするうえで厳しい状況もあり、看護師の配置を希望している。近隣自治体の状況も研究し、今後も募

集を続けていくとの説明があった。

当委員会としては、令和8年度から乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の実施により、現在保育所等に入園していない生後6か月から満3歳未満の子どもと保護者に対して適切な遊びや生活の場を提供し、保護者に対して子育てについての情報提供や援助を行う業務が加わることから、保育士の処遇改善も含め、職員体制の充実に努めていくよう提案した。

また、基山っ子みらい館は、鉄骨造平屋建築であるが、外壁や建物の内部等に木材を多く使っていることから、今後の施設管理について質したところ、設置から5年を経過した令和7年度に正面南側等の外壁の洗浄と保護塗装を行った。今後は令和12年度に屋根や外壁の塗装等を行う予定であり、公共施設の個別施設計画に基づき長寿命化を図っていくとの説明を受けた。

当委員会としては、木材は木のぬくもりを感じ良い点もあるが、一方その性質上、吸湿や温度の変化により問題が出てくる場合があるため、特に点検を密に行い、適切な管理を行うよう提案した。